



さどく ゆたかに たくましく  
宮城県多賀城高等学校

## 県総体を終えて

### 各部からのメッセージ!

6月5日から7日を主日程として県総体が行われました。大会の感想や3年間の振り返りなど、3年生の思いをお届けします。

#### 男子バレー部

■3年5組 佐藤 瑞起(玉川中出身)



去年の高校総体がコロナによって中止となり、先輩との最後の試合が行えず後悔の思いが残りました。今まで当たり前だったことが当たり前ではない時代となってしまったことを思い知らされました。自分たちの代では同じ後悔をしないよう、一つ一つの練習、練習試合、大会で必死になりました。迎えた総体では初戦で敗退という結果に終わってしまいました。内容には満足しています。3年生3人というチームで2年生が半分試合に出ており、悔しい気持ちを共有できたと思います。この思いを胸に来年の総体では1つでも多く勝利を収めてほしいと思っています。

#### 女子バレー部

■3年4組 小林 夏日(玉川中出身)



私にとって高校でのバレーは、とても濃く、様々なことがありました。1年生のときは、自分もこんなにかっこいい先輩みたいになりたいと憧れ頑張っていました。2年生になって先輩ができたときに、改めて先輩という立場の責任の重さを知りました。プレーはもちろん、メンタル面などチーム内の様々なことを気にしながら、自分の仕事をこなさなくてはなりません。試行錯誤しながら、私らしい「先輩」になることが大切なのだと思付くことができました。途中で何度も逃げ

出したくなることもありましたが、最後までバレーと向き合えたからこそ得たものがあり、自分の成長につながったのだと思っています。

#### ラグビー部

■3年6組 平間 優作(利府西中出身)



私たちはベスト4を目標に練習してきましたが、結果は初戦敗退というとても悔しい結果となりました。目標に対してチームとしての考えや意識が甘かったのだと思います。8月末から始まる花園予選に向けてチーム全体の意識を統一し、一人一人が考えてプレーできるように、日々の練習を意識して行いたいと思います。3年生はあと2カ月で最後の大会を迎えます。先輩は、私たちがいなくても自分たちで部をまとめられるように成長してもらえればと思います。

#### 男子卓球部

■3年3組 三塚 楽人(中野中出身)



私たち男子卓球部は、個人戦・団体戦ともに県大会出場という目標を達成すべく日々の練習に真剣に取り組んできました。結果としてその目標は達成することはできませんでしたが、一人一人が最後まであきらめずに戦うことができました。そして、3年生は受験に向けて、1・2年生は次の大会に向けて、区切りをつけることができた良い大会となりました。この1年間、新型コロナウイルスによる部活動の休止など様々なことがあり、満足に活動ができない時期もありましたが、引退まで部活動をやり切ることができ、良い思い出となりました。

#### 女子卓球部

■3年3組 佐藤 千種(台原中出身)



三年間を振り返ると、決して楽しいだけの部活動ではありませんでした。特に、新型コロナウイルスの影響は大きく、大会などが大きく制限されてモチベーションが下がった時期もありました。昨年度の新人戦では団体戦で県大会に進むことができず、悔し涙が止まりませんでした。しかし、そんな苦しい中でもあきらめずに次の大会へ望みをかけることができました。ひとえに部内の明るい雰囲気のおかげです。私たちの部活は少人数ながら一人一人が芯の強さや明るさを持っていきます。個性豊かな部員同士で励ましあい、日々

の練習に全力で取り組んだ結果、今年度の高総体では団体・個人ともに県大会出場が叶いました。嬉しいことですが、先輩たちにはこれに満足することなく、さらなる高みを目指してほしいと思います。

#### 女子ソフトテニス部

■3年4組 窪田 菜海(七ヶ浜中出身)



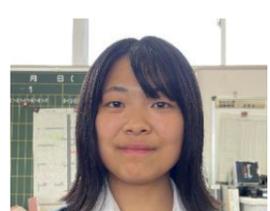
私達は高校総体に向けて毎日練習を頑張ってきました。今年練習試合や大会が数多く中止となってしまいました。そんな中でも、仲間と高校生活最後の総体に出場できて本当に良かったです。女子ソフトテニス部はいつも元気で明るく笑顔が絶えない部で、この仲間たちだからこそ練習を一生懸命に取り組むことができました。いつも部活の雰囲気明るくしてくれる1・2年生、部長の私を支えてくれた3年生には本当に感謝しています。

地区総体では全員が練習の成果を出し切ることができ、4ペアが県大会に進むことができました。県総体では、団体戦では悔しい結果となりましたが、個人戦ではみんな自分の力を出しきり最後まで戦い抜くことができました。部活動で得たたくさんのことはこれからの人生で起きる困難なことを乗り越える助けになると思います。また、先輩たちにはこれからも日々成長していきけるよう頑張ってください。

## 最後の夏へ…決意表明!

#### 吹奏楽部

■3年1組 高橋 楓花(中野中出身)



ついに私たちが待ち望んでいた吹奏楽コンクールの季節がやってきました。昨年度はコンクールが中止となり、先輩方は延期して開催した定期演奏会で涙を流しながら引退しました。悔しい思いで引退した先輩方の熱意、意志を継いでコンクールに臨みたいと思っています。音楽は人に喜びを与え、人と心を通わせることができる言語にもなります。コンクールの本番は一度しかなく、この素晴らしい機会を一瞬しかありません。これからは経験したことのない日々の連続になるはず。毎日の練習の中で人間的にも成長しながら、私たちの多高サウンドをホール中に響かせたいです。

#### 野球部

■3年7組 穴戸 遥弥(東仙台中出身)



私たちは7月7日から始まる全国高等学校選手権宮城大会に出場します。ここ数年、この大会では初戦敗退が続いているので、悪い流れを断ち切るべく、初戦突破を目標として練習に励んでいます。今まで応援やサポートをしてくれた家族や友達、「全員野球」で戦ってきます。

## ミヤテレビ・柳瀬アナウンサー

### 特別授業



6月10日、3年生災害科 学科対象の学校設定科目「くらしと安全日」で、宮城テレビ放送アナウンサー・柳瀬洋平さんをお招きし、「震災とテレビ報道」というテーマで特別授業を行いました。今回は事前にZoomから授業前レポートを送り、自分たちが報道をどのように受け止めているかを柳瀬さんと共有した上で、柳瀬さんに講義いただきました。講義の後のワークショップでは、各班が震災報道で見えてきたことや課題などをアウトプット・共有することで、改めて災害報道のさまざまな面を見つめ直す場となりました。

■3年7組 佐藤 小夏(塩竈二中出身)

テレビ局の人達は自分の家族がいるにも関わらず多くの葛藤を抱えながら私達のために災害時の情報を伝えてくれているのだと知り、今まではそういった時にテレビ局側の人のことを考えず、当たり前のようにニュースを見てしまっていました。今後はテレビ局の人達も頑張ってくれているのだと感謝の気持ちを持ちながら見たいと思いました。さらに、東日本大震災の初動の映像や津波の映像を見ました。これまでも何度かそういった動画を見たことがありましたが、今回見たものはより臨場感があり心苦しさを覚える映像で、改めてあの時の恐ろしさを感じることができ、同時に、今自分を含む家族みんなが、あの時の被害を受けずに生きていくれているということのありがたさを感じることができました。

今後自分自身が災害科学科として学んだことを多くの人に伝え、震災の記憶の風化を防げる立場になれるようにしたいと思いました。